



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場会社名 住友金属工業株式会社

上場取引所 東 大名 札幌

コード番号 5405 URL <http://www.sumitomometals.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 友野 宏

問合せ先責任者 (役職名) 広報グループ長

(氏名) 松井 俊文

TEL (03) 4416-6115

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	1,045,776	13.1	39,776	—	26,888	—	34,929	—
22年3月期第3四半期	924,790	△37.6	△31,179	—	△58,658	—	△57,475	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	7.53	—
22年3月期第3四半期	△12.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	2,412,606	863,746	33.7	175.41
22年3月期	2,403,670	879,209	34.5	178.87

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 813,115百万円 22年3月期 829,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
23年3月期	—	2.50	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,440,000	12.0	55,000	—	30,000	—	25,000	—	5.39

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2～3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 4,805,974,238株 22年3月期 4,805,974,238株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 170,364,523株 22年3月期 170,152,892株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 4,635,733,656株 22年3月期3Q 4,636,191,713株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 平成23年3月期第3四半期(3ヶ月)の連結業績(平成22年10月1日～平成22年12月31日)

(百万円未満切捨て)

連結経営成績(3ヶ月)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成23年3月期第3四半期	351,993	8.0	4,997	—	△2,078	—	39	—
平成22年3月期第3四半期	326,051	△34.9	△3,117	—	△11,044	—	△10,798	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
平成23年3月期第3四半期	0.01	0.00
平成22年3月期第3四半期	△2.33	—

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	8
(1) 業績（連結）	8
(2) 粗鋼生産量（株住友金属小倉、株住友金属和歌山を含む）	8
(3) 輸出比率（株住友金属小倉、株住友金属直江津、株住友金属和歌山を含む・・・金額ベース）	8
(4) 為替レート	8
(5) 外貨バランス（連結）	8
(6) 鋼材平均価格（株住友金属小倉、株住友金属直江津、株住友金属和歌山を含む）	9
(7) 借入残高（連結）	9
(8) 損益変動要因分析（連結）	9

※ 当社は、平成23年2月4日(金)に機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、主なQ&Aについては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間は、前第3四半期連結会計期間と比較して原材料価格の高騰の影響などもあり、厳しい経営環境でありました。

このような状況の下、当社グループは、より一層のコスト削減など収益改善に全力をあげて取り組んでまいりましたが、高炉の不調といった一過性の要因や販売環境の回復遅れにより収益が後退し、当第3四半期連結会計期間の業績は、前第3四半期連結会計期間と比較して若干の好転にとどまりました。

この結果、売上高は3,519億円（前第3四半期連結会計期間対比259億円の増加）、営業利益は49億円（前第3四半期連結会計期間対比81億円の増加）、経常損失は20億円（前第3四半期連結会計期間対比89億円の損失の減少）、四半期純利益は0億円（前第3四半期連結会計期間対比108億円の増加）となりました。

なお、当社は、平成23年2月に、新日本製鐵株式会社との間で、平成24年10月1日を目途に両社を統合するべく検討を開始することについて合意いたしました。当社と新日本製鐵株式会社の経営を統合し、両社の力を融合して相乗効果を創出することにより、世界最高の競争力を持つ世界トップクラスの総合鉄鋼メーカーに発展することを目指します。

※ 平成23年3月期第1四半期及び第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成23年3月期第1四半期決算短信（平成22年7月29日開示）及び第2四半期決算短信（平成22年10月28日開示）をご参照ください。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の経営環境は、平成22年10月28日の業績予想の公表時に比べ、持分法適用関連会社のリストラ実施及び高炉の不調といった一過性の要因や、販売環境の回復が遅れていることによる収益後退もあり、厳しい状況にあります。当社グループは、引き続きコスト削減に取り組み、収益改善に努めてまいりますが、このような経営環境を鑑み、通期の業績予想を売上高14,400億円、営業利益550億円、経常利益300億円、当期純利益250億円といたしました。

なお、当該業績予想の修正につきましては、本日「業績予想の修正に関するお知らせ」において開示しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

以下の簡便な会計処理を適用しております。

① 棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、主として、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法を適用しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している場合に、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法を適用しております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法、あるいは繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法等を適用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これにより、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

②資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

③企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日公表分）、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,654	19,710
受取手形及び売掛金	124,531	151,507
商品及び製品	162,980	147,581
仕掛品	29,080	24,940
原材料及び貯蔵品	229,336	213,607
その他	52,511	49,237
貸倒引当金	△168	△153
流動資産合計	618,926	606,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	261,225	267,460
機械装置及び運搬具(純額)	414,548	439,740
土地	348,798	340,324
その他(純額)	97,131	94,319
有形固定資産合計	1,121,703	1,141,845
無形固定資産		
	6,369	6,470
投資その他の資産		
投資有価証券	500,993	533,458
その他	164,824	116,451
貸倒引当金	△211	△986
投資その他の資産合計	665,607	648,923
固定資産合計	1,793,680	1,797,239
資産合計	2,412,606	2,403,670
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	260,488	204,969
短期借入金	272,007	286,893
その他	167,089	147,492
流動負債合計	699,585	639,355
固定負債		
社債	190,662	185,658
長期借入金	590,442	631,802
退職給付引当金	20,216	19,948
特別修繕引当金	207	208
その他	47,745	47,487
固定負債合計	849,274	885,105
負債合計	1,548,860	1,524,461

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	262,072	262,072
資本剰余金	61,829	61,829
利益剰余金	608,005	596,254
自己株式	△91,151	△91,106
株主資本合計	840,755	829,050
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15,451	2,324
繰延ヘッジ損益	△970	△979
土地再評価差額金	11,203	11,834
為替換算調整勘定	△22,421	△13,009
評価・換算差額等合計	△27,640	169
少数株主持分	50,630	49,989
純資産合計	863,746	879,209
負債純資産合計	2,412,606	2,403,670

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	924,790	1,045,776
売上原価	863,861	912,610
売上総利益	60,929	133,165
販売費及び一般管理費		
発送費	22,583	27,983
従業員給料及び手当	29,324	26,453
その他	40,201	38,952
販売費及び一般管理費合計	92,109	93,389
営業利益又は営業損失(△)	△31,179	39,776
営業外収益		
受取配当金	2,928	4,019
持分法による投資利益	—	3,374
その他	10,207	8,202
営業外収益合計	13,136	15,596
営業外費用		
支払利息	11,916	11,284
持分法による投資損失	16,058	—
固定資産除売却損	—	6,884
その他	12,640	10,315
営業外費用合計	40,615	28,484
経常利益又は経常損失(△)	△58,658	26,888
特別損失		
持分変動損失	1,592	—
事業再編損	1,532	—
特別損失合計	3,124	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△61,783	26,888
法人税、住民税及び事業税	2,981	10,101
法人税等調整額	△7,218	△20,341
法人税等合計	△4,236	△10,239
少数株主損益調整前四半期純利益	—	37,127
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△71	2,198
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△57,475	34,929

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 業績 (連結)

(単位: 億円)

	22年度見通し						
	第1四半期	第2四半期	上期実績	22年度見通し		下期見通し	
				第3四半期	第4四半期		
鉄鋼	3 2 4 6	3 3 9 8	6 6 4 5	3 4 1 5	3 8 3 0 程度	7 2 5 0 程度	1 3 9 0 0 程度
その他	1 6 9	1 2 2	2 9 2	1 0 4	1 0 0 程度	2 0 0 程度	5 0 0 程度
売上高	3 4 1 6	3 5 2 1	6 9 3 7	3 5 1 9	3 9 3 0 程度	7 4 5 0 程度	1 4 4 0 0 程度
鉄鋼	1 2 6	1 8 4	3 1 0	3 4	1 3 5 程度	1 7 0 程度	4 8 0 程度
その他	1 6	2 1	3 8	1 5	1 5 程度	3 0 程度	7 0 程度
調整額	△0	△1	△1	△0	—	—	—
営業利益	1 4 2	2 0 4	3 4 7	4 9	1 5 0 程度	2 0 0 程度	5 5 0 程度
経常利益	9 4	1 9 4	2 8 9	△2 0	3 0 程度	1 0 程度	3 0 0 程度
当期純利益	4 4	3 0 4	3 4 8	0	△1 0 0 程度	△1 0 0 程度	2 5 0 程度

(2) 粗鋼生産量 (株住友金属小倉、株住友金属和歌山を含む)

(単位: 万トン)

	22年度見通し						
	第1四半期	第2四半期	上期	22年度見通し		下期	通期
				第3四半期	第4四半期		
20年度	3 5 0	3 5 4	7 0 4	3 3 6	2 4 8	5 8 4	1 2 8 7
21年度	2 2 8	2 7 9	5 0 7	3 2 6	3 3 2	6 5 8	1 1 6 5
22年度見通し	3 3 5	3 4 3	6 7 8	3 0 0	3 7 0 程度	6 7 0 程度	1 3 5 0 程度

(3) 輸出比率 (株住友金属小倉、株住友金属直江津、株住友金属和歌山を含む・・・金額ベース)

(単位: %)

	22年度見通し						
	第1四半期	第2四半期	上期	22年度見通し		下期	通期
				第3四半期	第4四半期		
20年度	4 4	4 4	4 4	4 6	4 8	4 7	4 5
21年度	4 8	4 2	4 5	4 1	4 1	4 1	4 3
22年度見通し	4 3	3 9	4 1	4 2	4 3 程度	4 3 程度	4 2 程度

(4) 為替レート

(単位: 円/\$)

	22年度見通し						
	第1四半期	第2四半期	上期	22年度見通し		下期	通期
				第3四半期	第4四半期		
20年度	1 0 5	1 0 8	1 0 6	9 6	9 4	9 5	1 0 1
21年度	9 7	9 4	9 5	9 0	9 1	9 0	9 3
22年度見通し	9 2	8 6	8 9	8 3	8 5 程度	8 4 程度	8 6 程度

(5) 外貨バランス (連結)

21年度	22年度見通し
7億\$/年程度 \$受取超過	2億\$/年程度 \$支払超過

(6) 鋼材平均価格 (株住友金属小倉、株住友金属直江津、株住友金属和歌山を含む)

(単位：千円/トン)

							通期
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
20年度	110.1	126.9	118.6	130.3	132.7	131.3	124.3
21年度	109.4	86.8	96.8	79.0	84.3	81.7	88.0
22年度見通し	87.7	95.6	91.6	95.9	98程度	97程度	94程度

(7) 借入残高 (連結)

(単位：億円)

22/3末	22/9末	22/12末	23/3末見通し
11383	11170	11111	11100程度

(8) 損益変動要因分析 (連結)

22年度第3四半期←21年度第3四半期

(為替レート TTM 22年度第3四半期：87円/ドル←21年度第3四半期：94円/ドル)

損益好転要因		損益悪化要因	
億円		億円	
(評価損益)	930	(原料・資材)	△1760
(キャリーオーバー) ※	610	(高炉不調)	△150
(販売数量)	440	(棚卸資産の簿価切下げ)	△70
(持分法損益)	194		
(コスト改善)	145		
(販売価格・構成他)	516		
合計	2835	合計	△1980

差引経常利益 855億円 22年度第3四半期実績 268億円 ← 21年度第3四半期実績 △586億円

※ 22年度第3四半期発生分 190億円 ← 21年度第3四半期発生分 △420億円